

提供日 2014/10/21(火)

タイトル 静岡県立総合病院がハイブリッド手術室を整備しました。

担当 県立総合病院

連絡先 県立総合病院 経営企画課

TEL 054-247-6111(代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

**より体に負担の少ない、新しい治療法が可能に！
県立総合病院がハイブリッド手術室を整備**

(要 旨)

県立総合病院では、この度、患者負担を軽減し、より高度な医療を提供できるハイブリッド手術室を整備しました。

高度な技術を有する医療スタッフが最新の治療器材と鮮明な画像診断を併用し、ステントグラフト治療や経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）など、循環器分野における先進的な治療を行います。

なお、手術は10月23日より開始します。

(概 要)

1 ハイブリッド手術室の整備概要

- (1) 場 所 県立総合病院 循環器病センター2階
- (2) 内 容 既存の心臓カテーテル室を改修し、空気清浄度を手術室基準に向上させ、心臓血管撮影装置を設置 等
- (3) 事業費 改修工事費や器械等購入費で約2億円

2 ハイブリッド手術室の導入目的等

(1) 導入目的

項 目	内 容
患者負担の軽減	従来開胸・開腹により行っていた手術について、カテーテル治療が可能になり、患者負担が激減。
循環器分野における高度な医療の提供	疾患件数の増えている循環器分野の機能強化。

(2) 静岡県内の導入状況

静岡県内の病院では、静岡市立静岡病院（H25.3）、聖隷浜松病院（H25.6）の2病院で導入。

3 その他

- ・TAVIについては平成25年10月から保険適用となっており、施設基準を満たすため、現在、関係学会に対し施設認定を申請中。
- ・平成26年12月20日（土）に一般県民向けの公開講演会を開催し、わかりやすく紹介する予定。

(問合せ先)

静岡県立総合病院 経営企画課 静岡市葵区北安東4-27-1

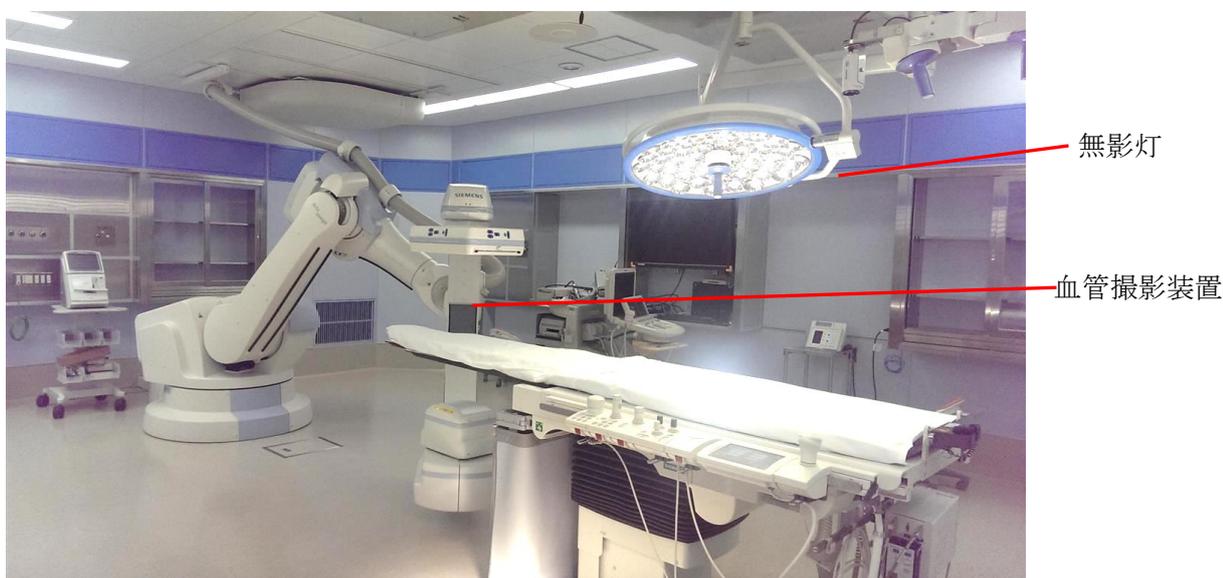
電話：054-247-6111（代表）（内線2123）

【参考・用語説明】

(1) ハイブリッド手術室

据置型血管撮影装置（アンギオ）を設置した手術室であり、カテーテル血管内治療と外科的手術の双方に対応が可能。

- ・合併症などの緊急時に対応が可能。（カテーテル治療から外科的手術への移行）
- ・手術のみでは到達困難な部位に対する治療が可能。
- ・カテーテルのみでは治療できない緊急時の病変に対しても外科的手術を同時に行うことで対応が可能。
- ・鮮明な透視画像により治療精度が向上



整備した県立総合病院のハイブリッド手術室内

(参考) 各室の機能の違い

室名	機能
カテーテル室	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的なカテーテル治療（バルーン・ステント） ＊据置型血管撮影装置あり
手術室	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的手術（開腹・開胸により、人工血管・人工弁に置き換え） ＊据置型血管撮影装置なし
ハイブリッド手術室	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的手術とカテーテルの併用 ・高度なカテーテル治療（ステントグラフト・TAVI） ・緊急時に対応 ＊据置型血管撮影装置＋手術室機能

(2) ハイブリッド手術室を設置することにより施術可能な手術

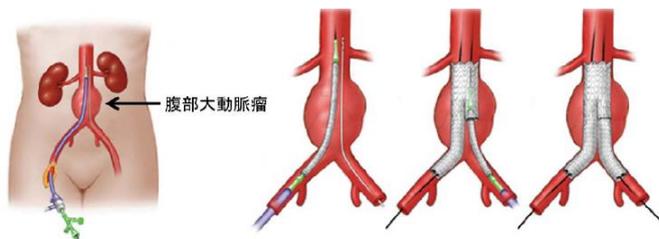
① 腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術

腹部大動脈瘤に対しては、腹部を切開して大動脈瘤を人工血管に置き換えて縫合する手術が一般的だが、高齢で開腹手術に耐える体力が無い患者や過去に開腹手術を受けた等危険性が高い患者などは開腹手術を受けられない。

しかし、腹部を切開することなく、足の血管から血管内にカテーテルを挿し込んで、人工血管を折りたたんだステントグラフトを大動脈瘤の内側に入れ、開いて血管内壁に張り付ける術式が行われるようになった。動脈瘤は血流を遮断され、破裂することなく、徐々に縮小する。

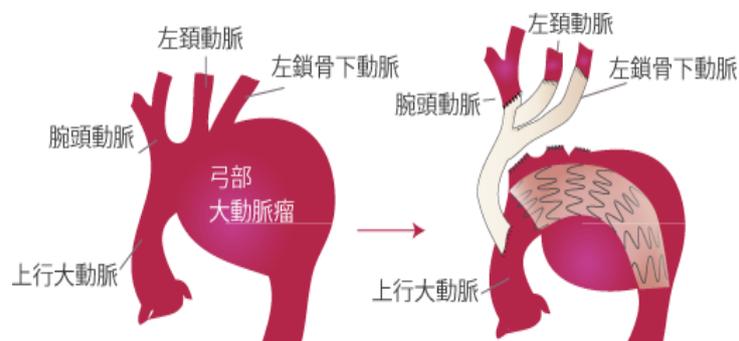
この術式は血管内で行われるため、血管造影を行いながら施術するが、大量出血などの緊急時に速やかに外科的処置に移行できるようにするため、ハイブリッド手術室が必要となる。

このように開腹しなくても施術できるため、高齢者等ハイリスク患者にも治療の道が開かれた。



② 胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術

胸部の大動脈瘤にもステントグラフト内挿術が行われるようになった。ただ、腹部大動脈と違い、頭や上肢に行く血管が分岐する場所であり、それらをステントグラフトで塞いでしまう訳にはいかないため、分岐する血管をバイパスした上で行う必要がある。



③ TAVI (経カテーテル大動脈弁留置術)

重症の大動脈弁狭窄症は、従来、外科的人工弁置換術(手術)が唯一の治療であったが、この病気は高齢者に多く、年齢や合併症などのためリスクが高く、手術が難しい。TAVIは金属の網(ステント)の中に牛の心膜で作成した人工弁を付けたものを、カテーテルを使用して足の動脈、あるいは胸壁から直接心臓に挿入し、埋め込むものである。

